

総合的な学習の時間の指導法	3年・後期	2単位 30時間	教授 松下晋
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	37011362 37011262 (2022年度生以降)

1. 授業のねらい・概要

総合的な学習の時間について、その設立の趣旨及び目標並びに内容を理解するとともに、横断的・総合的な学習が図れる学習課題を設定し、指導計画が作成できる能力を身に付ける。

また、模擬授業等の試行を通じ、探求的な見方や考え方を培い、よりよく課題を解決し自己の生き方や社会の在り方を考えていくための資質・能力の育成を図る。

2. 学修の到達目標

1. 総合的な学習の時間が創設された意味を理解し、探究的な見方・考え方を身に付けることができる。(D-1)
2. 各教科等で身に付けた知識や技能を使って、課題を主体的に解決しようとする力を身に付けることができる。(D-2)
3. 探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。(D-3)
4. 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題等について、教科等の枠を越え横断的に考え解決していこうとする姿勢や能力を身に付けることができる。(D-4)
5. 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。(D-5)

3. 授業の進め方

基本的には、テキスト及びスライドを使った講義及び学生による指導計画・学習指導案の作成発表並びに模擬授業等を実施し進める。また、模擬授業後の授業研究や学習課題に基づく意見交換等の学習活動も取り入れる。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	講義概要説明（オリエンテーション）	講義	予習：特になし。 復習：総合的な学習の時間が誕生した理由を自分なりに考えまとめる。	松下 晋
2	総合的な学習の時間の導入の趣旨及び目的	講義	予習：中学校・高校時代で受けた総合的な学習の時間の授業を思い出しまとめる。 復習：ビデオ資料「戦後教育史(前半)」を視聴し、視聴した内容をまとめる。	松下
3	総合的な学習の時間の目標及び内容	講義	予習：ビデオ資料から総合的な学習が誕生した理由を改めて考え、まとめる。 復習：ビデオ資料「戦後教育史(後半)」を視聴し、視聴した内容をまとめる。	松下
4	指導計画の作成と内容の取扱い	講義	予習：目標や内容の文言をビデオ資料から再確認し、指導計画作成に活かす。 復習：目標や内容の趣旨を活かした指導計画の作成と内容の取り扱いに留意する。	松下
5	中学校における総合的な学習の時間の授業展開	講義	予習：中学校で受けた総合的な学習の時間の授業を発表できるようにする。	松下

			復習：自分が中学校で受けた授業を基に、具体的な授業の進め方をまとめる。	
6	高等学校における総合的な探究の時間の授業展開	講義	予習：高等学校で受けた総合的な学習の時間の授業を発表できるようにする。 復習：自分が高等学校で受けた授業を基に、具体的な授業の進め方をまとめる。	松下
7	総合的な学習の時間の年間指導計画の作成	講義	予習：出身中学校・高等学校の年間指導計画を用意する。 復習：出身中学校・高等学校の年間指導計画を例に、作成のポイントをまとめる。	松下
8	総合的な学習の時間の単元計画の作成	講義	予習：「指導と評価の一体化」のための学習評価の中から一つ選んで考えてくる。 復習：評価の観点を踏まえた単元計画作成を行う。	松下
9	総合的な学習の時間の評価と実際	講義	予習：評価規準と評価基準の違いを考え発表できるようにする。 復習：指導と評価の一体化を目指した指導計画を作成する。	松下
10	総合的な学習の時間の課題設定方法	講義	予習：「探究的な学習における生徒の学習の姿」について調べてくる。 復習：実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる方法を工夫する。	松下
11	総合的な学習の時間を推進するための体制づくり	講義	予習：横断的・総合的な学習を行うための体制作りに必要なことは何か考える。 復習：学年及び教科の枠を越えた総合的な学習の時間への取組方法をまとめる。	松下
12	総合的な学習の時間を推進するための環境整備	講義	予習：出身学校の総合的な学習の時間で取り上げられた課題とその解決プロセスを例に必要な環境を考える。 復習：課題解決に必要な人的・物的資源の整備及び開発についてまとめる。	松下
13	総合的な学習の時間の模擬授業と実践研究Ⅰ	演習	予習：環境問題を取り上げた総合的な学習の時間での模擬授業を考える。 復習：課題設定の場面や課題解決の場面での授業展開について使用する資料等を工夫し作成する。	松下
14	総合的な学習の時間の模擬授業と実践研究Ⅱ	演習	予習：進路について取り上げた総合的な学習の時間での模擬授業を考える。	松下

			復習：課題設定の場面や課題解決の場面での授業展開について使用する資料等を工夫し作成する。	
15	総合的な学習の時間とアクティブ・ラーニング	講義	予習：学習指導要領解説編(総合的な学習の時間)で述べられているアクティブ・ラーニングにかかわる記述を抜き出す。 復習：アクティブ・ラーニングは新しい取組みでなく、小中学校では既に取り組んでいたことで、総合的な学習の時間の取組みと軌を一にすることを確認する。	松下

5. 成績評価の方法・基準

学期末に実施するレポートと平常点とを総合して評価する。評価の配分割合については、レポートの成績(50%)と平常点(50%)を基準に評価する。

平常点については、毎回講義内で提示する本時の課題への取組み状況及び授業後に提出された課題解決に使用した資料や解決方法等についての内容から評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：文部科学省 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編

文部科学省 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編

参考文献：1) 文部科学省 平成8年「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」中央教育課程審議会第一次 答申

2) 文部科学省 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教育課程の基準の改善について(答申) 教育課程審議会答申 平成10年7月29日

3) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校総合的な学習の時間 立教育政策研究所] / 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター/ [著]

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および、事前事後学修(学修課題)については、事前学習として毎回最低90分の学修を授業前に行い、授業後は同様に事後学習として最低90分の事後学修を行うこと。

8. 受講上の留意事項

学部2年生終了時に、次の二つの「教育実習に関する学内規定」を満たしていること。

① GPA(Grade Point Average)値の総合が、2.0以上であること。

② 次の両方を満たしていること。

(1) 教育の基礎的理解に関する科目のGPAが、2.0以上であること。

(2) 教科及び教科の指導法に関する科目のGPAが、2.3以上であること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

毎回授業の最後に提示する課題の回答等を次時で取り上げ、前時の重要事項の確認を行うとともに、自己評価を行い学習の定着を図る。

学期末に実施するレポートについては、レポート課題解決に必要なキーワードや授業資料等について提示し、学習の振り返りができるようにする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職必修科目であり，修得できない場合は免許状取得不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

本授業は，学校現場における教師としての勤務経験を活かして，講義を行う。